

授業科目 教育心理学 II

【担当教員名】  遠山 孝司	対象学年	1	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	○
【概要・一般目標：GI0】 児童・生徒の発達面、学習面、社会面、進路面における諸問題に対する心理教育的支援サービスを効果的に行うための基本的知識と態度の習得を目的とする。 あわせて、欲求やストレスについての理解を深めるとともに、教育において他者のQOLを高めるために必要な知識を身につける。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 児童生徒がもつ対人関係に関連する心理学的理論を理解し、学校での人間関係に対する理解を深める 2. パーソナリティや知能に関する理論を理解し、児童生徒の個人差に応じた指導教育が考えられるようになる 3. 欲求と動機、ストレスと不安などの諸理論を理解し、児童生徒が自発的に課題に取り組むような指導教育、児童生徒のQOLを高める指導教育が考えられるようになる 4. 記憶の理論を理解することを通じて記憶を効率的に行う方法論を理解する				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	発達の心理学（発達とは）		1	講義と小レポート
2	発達の心理学（発達段階説）		1	講義と小レポート
3	発達の心理学（認知、言語、道徳性の発達）		2	講義と小レポート
4	発達の心理学（発達における個人差と障碍）		2	講義と小レポート
5	パーソナリティの心理学（パーソナリティの諸理論）		3	講義と小レポート
6	パーソナリティの心理学（パーソナリティの測定）		3	講義と小レポート
7	欲求と動機の心理		4	講義と小レポート
8	ストレスと不安の心理		4	講義と小レポート
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	なし			
参考書	なし			
その他の資料	資料は適宜配布する			
【評価方法】 出席、小レポート、試験により総合的に評価する。		【履修上の留意点】 講義内容を覚えるのではなく、講義内容を基に自分自身や自分の身の回りの人間、自分の過去や将来像、人間観などに当てはめて深く考えること、自分が考えた内容を表現できるようになることを求める。		